

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

〒052-1571 1955

Kouhei's Cafe Kouhei's Cafe

皆さん、こんにちは。いよいよ総選挙ですね。通算四十三回目、戦後十九回目の総選挙です。十月二十八日公示、十一月九日投票です。投票は皆さんの権利である一方、義務とも言えます。主権者、有権者としての義務を果たすために、ぜひ投票に行ってください。不在者投票制度も便利になっています。ご活用ください。

日本を「ふつうの国」へ

政権交代が起きた細川政権以来十年振り、二大政党制をつくるために導入された小選挙区制度のもとで三日目の総選挙です。また、二十世紀最初の総選挙でもあります。日本は野党第一党が時の与党と交代するという本格的な政権交代を経験したことがあります。主な国々でこうしたことを経験していないのは、中国、北朝鮮、日本のこの国だけと言わ

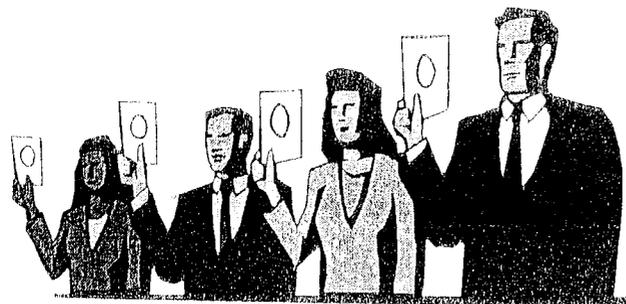
れています。政権交代が起きる「ふつうの国」への第一歩、それが今回の総選挙の意味かもしれません。

マニフェスト選挙へ

ところで、日本ではこれまで、政策の内容を競い合って選挙を行うということがあまりありませんでした。今回は、各政党がマニフェスト(政権公約)と言われる政策集を明らかにし、その内容を競い合っています。マニフェストは議会制民主主義の先輩国家である英国で発展しました。有権者は、候補者を選ぶというよりも政策や政党を選ぶという選挙をめざしています。

「小泉自民党」対「菅民主党」、「幕府」対「菅軍」「官軍」の戦いと言う人もいます。「ベルリンの壁」が崩壊したのも十一月九日です。今回の

マニフェスト選挙をきっかけに「日本の壁」が崩壊し、安心できる「つよい社会」と日本経済復活のスタートとなることを期待しています。

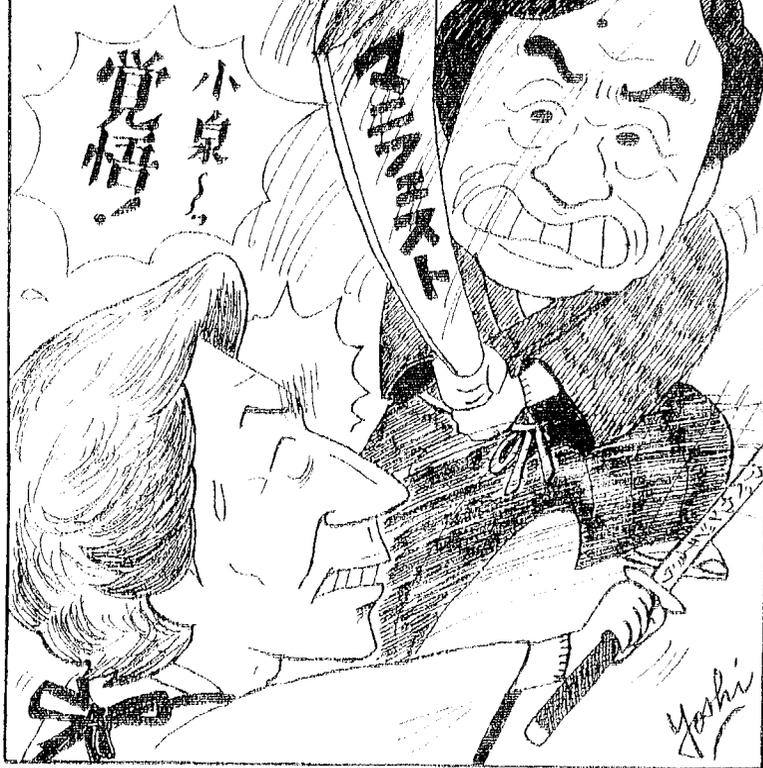


マニフェスト選挙

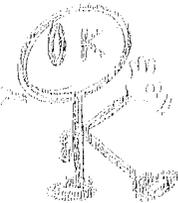
「の壁、決戦！」

びゅん

「の巻、決戦！」



日本を常識的な国
にする。それが本当の
改革である。頑張ります。



Obama Kocho

トと
ます。
か壊し、
きっか

覚王山ソクソクコーナー

—— 覚王山近辺の名店を続々と紹介します！ ——
 < 今回ご紹介するのは、「理容 菊水」さんです >

広小路通りから日泰寺の参道に入ると、ほどなく右手に、あの、床屋さんのシンボルともいえる赤、青、白の縞の回転模様が見えてくる。ここに「理容 菊水」はある。

この理容菊水さん、創業は昭和10年というから、既に業歴70年近い床屋さんの老舗。今のご主人は二代目の伊藤清彦さん。床屋さんの家に生まれ、両親や職人さん達の手さばきを見ながら育ち、当り前の様に自分も床屋さんになった伊藤さん。「床屋の仕事はまさに人生そのもの」と、語るその目が、厳しくもとても温かいのが印象的。

ご主人にこの店のセールスポイントを聞いたところ、「特殊な技術に走らず基本で勝負すること」「赤ちゃんからお年よりまで来店していただけること」と即答。確かにお店に入ると、その清潔感と、ご主人、奥様、娘さんご夫婦のぬくもりが伝わり、誰もが気軽に来店したくなるのもうなずける。

皆さんも是非この理容菊水で、老舗の確かな技術と落ち着いた雰囲気を楽しんでください！

理容 菊水

電話：052-761-2216